資料２

幕張新都心まちづくり将来構想
骨子案

2021/6/28

幕張新都心課

将来構想策定の趣旨

- 幕張新都心は**「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際業務都市**として発展を遂げてきた。

- これまでの幕張新都心の歴史・歩みを踏まえると、幕張新都心のまちづくりに取り組む上で**「千葉市の幕張新都心」**はもとより、**千葉県・首都圏の拠点**でもある幕張新都心を成長させていく必要がある。

- 幕張新都心は、旧千葉県企業庁が主体となりまちづくりを進めてきたが、旧企業庁事業の収束に伴い、今後のまちづくりは**市が主体**となり取り組む必要がある。

- 多様な関係者が活躍する幕張新都心において、まちが更に成長していくためには、**目指すべき方向性の共有**が必要となる。

- 幕張新都心が、新たな取り組みを取り入れながら発展してきた**これまでの３０年間の歩み**を踏まえ、**今後も更に発展**していくまちであり続けるため、概ね20～30年後の将来を見据えたまちづくりの方向性を示す**「幕張新都心まちづくり将来構想」**を策定する。

将来構想・フロー

1. 各種計画における将来像・位置づけ
(業務核都市構想など)

↓

2. 幕張新都心のあゆみ
(歴史を振り返り幕張新都心のマインドを再度整理)

↓

3. 幕張新都心の現在の姿

4. 考慮すべき将来の変化
①インフラの整備による外部環境の変化
②各種政策動向
③技術の進展と将来社会・ライフスタイルの変化

5. 関係者・市民の想い(関係者ヒアリング)

6. 幕張新都心への有識者の視点(有識者ヒアリング)

↓

7. 幕張新都心が目指すべき姿

8. 現状分析
(職・住・学・遊の評価と目指すべき姿とのギャップを確認)

↓

9. 幕張新都心のまちづくりの変革の方向性
（目指すべき姿と現状のギャップを超えるために進むべき（変えるべき）方向）

1. 各種計画における将来像・位置づけ

幕張新都心は、**明確な土地利用計画**のもと、幕張メッセをはじめ、オフィスビル、教育・研究施設やホテル・商業施設及び幕張ベイタウンや若葉住宅地区の整備の推進により、**「職・住・学・遊」**の複合機能の集積が進んだ。また、次の基本コンセプトのもと、**未来型の国際業務都市**の形成を目指し発展してきた。

（１） 幕張メッセを核とした国際的な業務機能の集積
（２） 先端・成長産業の中枢的業務機能及び研究開発機能の集積
（３） 先端技術産業に対応する高度な人材を育成する学術・教育機能の集積
（４） 新しい時代の社会的ニーズやライフスタイルに対応した快適で魅力的な居住空間の実現

職・住・学・遊に関する各種計画での記述

職	(基本)「**企画・研究のための人材や研究養成施設の誘導**」 (三角)「東京指向型の就業構造を改善し、**県民に対し多様な職場**を提供」「**成田空港・千葉港等を背景に国際的な業務機能を育成**」 (核)「世界に開かれた**首都機能の一部を担う広域的な機能の受け皿**」 (第2)「世界の人、モノ、情報がいきかう**国際交流都市**」「未来型産業を育成する**先導的な産業創出都市**」
住	(核)「**緑豊かでうるおいのある快適な生活環境を有する居住機能**」 (第2)「**21世紀の都市型ライフスタイルをリードする住宅地区の形成**」
学	(三角)「**教育文化施設を積極的に導入**するとともに、**科学技術立国の方針にあわせた高度な人材の育成**」 (第2)「**新しい産業に対応**できる**人材の育成と国際的な研究、教育、研修、文化機能の促進による交流拠点の形成**」
遊	(三角)「臨水環境を生かし、広く県民の利用に資する**健康的なレクリエーションの場**を提供」 (事業)「**高次な都市的レクリエーション空間の創出**」 (第2)「**多くの人が寄り集う新しい文化創造**都市」

(基本)：幕張新都心基本計画(1975)
(三角)：千葉新産業三角構想(1983)
(事業)：幕張新都心事業化計画(1983)
(核)：千葉業務核都市基本構想(1991)
(第2)：幕張新都心第2ステージ推進方針(1998)

2. 幕張新都心のあゆみ

- 1980年の埋め立て工事完了以来、**幕張新都心はこれまでも先進的な取組に数多くチャレンジ**してきた。特徴的なハード施設の整備に始まり、昨今は未来技術の実装に向けた取り組みも進んでいる。

幕張新都心のあゆみ、先進的な取組

職	(1990)幕張テクノガーデン開業 (1991)ワールドビジネスガーデン開業 (2016)千葉市が国家戦略特別区域に指定（ドローン宅配・新たなモビリテイサービスなどの実証事業開始）
住	(1995)幕張ベイタウンへの入居開始(日本初で最大の沿道中庭型住宅) (2019)幕張ベイパークへの入居開始（供給戸数4500戸,居住人口10000人の新たなまちづくり）
学	(1995)幕張ベイタウン入居開始に合わせ、打瀬小・中開校（打瀬小は建築学会作品賞） (1999)ジェトロ・アジア経済研究所移転（アジア等地域の経済を中心とした諸事情について研究） (2009)幕張インターナショナルスクール開校（日本初の学校教育法に基づく外国語で授業を行う学校）
遊	(1989)幕張メッセ開業（国内屈指のコンベンション施設） (1990)千葉マリンスタジアム開業（ロッテの本拠地、日本最大級音楽イベントの会場へ） (1999)GLAYが20万人ライブ（日本音楽史上最大規模） (2005)千葉ロッテマリーンズ優勝パレード(ボランティアとして地元住民が数多く参画) (2015)幕張海浜公園にてレッドブル・エアレースの開催（国内で唯一開催）

- 出所）毎日新聞ウェブサイト（閲覧日：2021年5月20日）https://mainichi.jp/graphs/20200110/mpj/00m/040/064000f/8, 千葉市ウェブサイト（閲覧日：2021年5月20日）https://www.pref.chiba.lg.jp/kigyou/kensetsu/youkoso/chiku/baytown.html, 千葉市ウェブサイト（閲覧日：2021年5月20）, https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/miraitoshi/tokku/tokku_mobility.html,

幕張メッセでの音楽イベントの様子

幕張ベイタウンの概観

自律走行ロボットの走行実証の様子

3. 幕張新都心の現在の姿（１）土地利用計画

土地利用計画表

（単位：ha）
(Unit:ha)

土地利用区分 Land Use Classification		用地面積 Land Area 中心地区 Core Area	拡大地区 Expansion Zone	計 Total
タウンセンター用地 Town Center District		24.6	8.4	33.0
業務研究用地 Business and Research District		53.6	31.0	84.6
文教用地 Academic District		57.8	—	57.8
住宅用地 Residential District	幕張ベイタウン Makuhari Bay Town	41.6	—	41.6
	若葉住宅 Wakaba Residential	17.5	—	17.5
公園緑地用地 Park and Greenery District		107.8	3.8	111.6
公益施設用地 Public utilities District		19.9	16.8	36.7
道路及びその他用地 Roads and other area		114.9	24.5	139.4
計 Total		437.7	84.5	522.2

国道14号 National Road 14
東関東自動車道 Higashi-Kanto Expressway
湾岸千葉IC Wangan Chiba I.C.
湾岸習志野IC Wangan Narashino I.C.
JR東京線 JR Keiyo Line
JR東日本京葉車両センター JR East Keiyo Rail yard
幕張新都心拡大地区 Makuhari New City Expansion Zone
〔芝園地区〕 〔豊砂地区〕
Wakaba Residential District 〔若葉住宅地区〕
幕張メッセ Makuhari Messe
国際展示場1～8ホール International Exhibition Hall 1～8
幕張海浜公園 Makuhari Seaside Park
幕張の浜（人工海浜） Makuhari Beach (Man-made Beach)
ZOZOマリンスタジアム ZOZO MARINE STADIUM
JFA夢フィールド幕張温泉湯楽の里 JFA YUME Field Makuhari onsen Yura no sato
To Tokyo 至東京
To Narita 至成田
至蘇我 To Soga
To Makuharihongo Sta.
Higashi-Kanto Expressway Narashino Thoroughfare Tollbooth
Shibazono District Toyosuna District
Chiba Prefectural Makuhari Sohgoh High School (Nursing Course)
Chiba Prefectural Makuhari Sohgoh High School (General Course)
Chiba Prefectural General Education Center
Chiba Prefectural University of Health Sciences
Kanto College of Acupuncture and Moxibustion
Kanda University of International Studies
Showa Gakuin Shuai Junior and Senior High School
Shibuya Kyoiku Gakuen Makuhari Junior and Senior High School
The Open University of Japan 放送大学
National Institute of Vocational Rehabilitation
Advanced Polytechnic Center
Tohto University (Faculty of Human Care at Makuhari)
Makuhari International School
Institute of Developing Economies
Makuhari Workers' Plaza
Makuhari International Training Center
Makuhari Clean Center
Makuhari Event Hall
Makuhari Messe Parking Area
Prefectural Police Facility
Chiba Psychiatric Medical Center
Chiba Institute of Technology
Shibazono logistics business area
Hanamigawa Sewage Treatment Plant No.2 at the lower reaches of Imbanuma Swamp
Chiba-Funabashi Kaihin Road (Main Local Road)
Chiba Rinkai Road (City Road)
Chiba Football Centre
Chiba Ladies Marines Indoor Practice Facility
Marines Store at Marines Museum
Chiba Municipal Utase Junior High School 2nd Schoolyard
Chiba Municipal Utase Elementary School
Chiba Municipal Utase Nursery School
Chiba Municipal Utase Jr. High School
Chiba Municipal Utase Kaihin Utase Elementary School
Chiba Municipal Utase Shizuka Utase Elementary School
Chiba Municipal Utase Nursery School
Chiba Municipal Utase Daiichi Nursery School
Chiba Municipal Utase Bengaku Nursery School
Chiba Municipal Utase Bengaku Elementary School
Chiba Municipal Utase Shizuka Utase Elementary School
Chiba Municipal Utase Shizuka Utase Nursery

3. 幕張新都心の現在の姿（２）幕張新都心活動人口(推計値)

単位：人／日

		1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
職	就業者(a)	35,000人	38,000人	41,000人	49,000人	57,000人	**60,000人**
住	居住者(b)	1,500人	8,900人	17,500人	23,000人	25,000人	**27,000人**
学	就学者(c)	9,000人	9,000人	10,000人	10,000人	11,000人	**12,000人**
遊	来訪者(d)	30,000人	36,000人	51,000人	65,000人	132,000人	**131,000人**
日々活動人口（a+b+c+d）		**75,500**	**91,900人**	**119,500人**	**147,000人**	**225,000人**	**230,000人**
業務研究地区事務所数		－	260社	400社	500社	430社	**530社**
年間来訪者数（人／年）		1,100万人	1,300万人	1,900万人	2,400万人	4,800万人	**4,800万人**

職	• 国内外を代表する企業15社のオフィスビルが立地し、約530社、約6万人が就業している。（2020年4月現在） • 特に情報通信業従事者が全体の13%程度を占めるのが特徴的である。（平成26年経済センサス基礎調査） • 本市は国家戦略特別区域として指定され、ドローン、新たなモビリティサービスなど先端的な取り組みが積極的に進められている
住	• 居住者は順調に増加し、約27,000人、世帯数約10,000世帯（2021年3月現在）。 • 幕張ベイタウン、幕張ベイパークでは、それぞれの地域組織が積極的に活動している。
学	• 小学校３校、中学校１校、高等学校３校（うち２校が中学校を併設）、大学４校、専門学校１校、インターナショナルスクール１校が開校し、約12,000人の学生が幕張新都心へ通学している（2020年4月現在）ほか、７つの研究施設等が立地している。
遊	• 幕張の浜、幕張海浜公園など憩いの場となる環境整備が進んだほか、ホテルや大規模商業施設等の整備により幕張新都心の賑わいが創出され１日あたり約131,000人、年間で約4,800万人が来訪している。（2020年4月現在）

4. 考慮すべき将来の変化(1)

周辺環境が変化し、世界における日本、日本における幕張新都心の位置づけも変容。また、技術革新も進み、産業構造も変化する。
世界・国内での地位を保ち伸ばすため、新技術も活用しつつ様々なコト・モノを創出し育成する、創造的な土壌が必要となるのではないか。

4. 考慮すべき将来の変化(文献調査)

- 【国際的な環境】中国、インドなど**新興国の成長・日本の相対的地位低下**
- 【国内での環境】**羽田空港の機能強化、リニア新幹線開業**等により、**成田空港を取り巻く環境も変化。広域的に見たときの幕張新都心の位置づけも変容。**
- 【新技術/産業構造変化】**AI/IoTなど技術革新が進む。サービス産業化・創造産業化が進展し、求められる人材も変化。**

5.関係者・市民の想い (関係者ヒアリング)	• 首都機能の一翼を担う国際的な業務都市という思想は堅持すべき。 • 零細企業、中小企業の経営環境は厳しい状況になっている。
6.幕張新都心への有識者の視点 (有識者ヒアリング)	• イノベーション拠点、実証実験拠点としての幕張新都心を目指すべきではないか。 • デジタル技術、ロボットなど新技術にも配慮したまちづくりが必要ではないか。 • バブル期の幕張新都心は「受け皿」という役割だったが、今後は幕張新都心からの「発信」「語りかけ」が必要ではないか。 • 都市のアート・文化は重要。文化があるからこそ経済は活性化される。

4. 考慮すべき将来の変化(2)

今後、活動する人・活動のスタイルがより多様化。
都市としてより多様な人の活動・挑戦を受け入れ、応援する包摂性が重要となるのではないか。

4. 考慮すべき将来の変化(文献調査)

- 【人口減少・少子高齢化】日本全体として、**今後急速に人口減少・高齢化が進展**
- 【グローバリゼーション】**グローバリゼーションの進展により、在住外国人も増加が予想**
- 【多様性】**SDGｓのなかでも多様性がうたわれるなど、社会的な機運が高まる**
- 【働き方の多様化】**コロナ禍によりテレワークが進展し住環境に対する価値観も変化。また副業・兼業・セカンドキャリアなど、働き方が多様化**
- 【余暇時間の変化】**ワークライフバランスの意識が高まり、余暇時間に対する意識も向上**
- 【学びに対する意識の変化】**人生100年時代のなかで、リカレント教育なども浸透**

5.関係者・市民の想い
(関係者ヒアリング)

- 打瀬小では、地元住民の協力を得ることが出来たと考えるが、新たな教育スタイルを継続するのは困難。

6.幕張新都心への有識者の視点
(有識者ヒアリング)

- 時代の潮流として、「コミュニティ」「サスティナビリティ」「持続可能性」が今後のキーワードとなるのではないか。
- 学校教育以外の学びの場の提供、生涯学習の提供が必要ではないか。
- 住む人の想いに寄り添い、課題に向き合うまちづくりが必要ではないか。

4. 考慮すべき将来の変化(3)

今後、行政のみによる都市の維持管理は困難になる。一方、都市の持続可能性向上が求められる。
行政が多様な主体と連携しながら、都市を運営・アップデートさせる必要があるのではないか。

4. 考慮すべき将来の変化(文献調査)

- 【行政による維持管理】**地方財政が厳しい状況、インフラ維持管理の負担も増大し、従来の行政による維持管理が困難になる**
- 【開発から維持管理へ】時代の潮流として今後、**柔軟に空間を活用しながら維持管理する重要性が高まる**
- 【持続可能性】今後の**災害の激甚化**が懸念。カーボンニュートラルなど**環境面での持続可能性**の対応も必要。

5.関係者・市民の想い
(関係者ヒアリング)

- （メッセ活用について）住民皆で盛り上げる視点が重要。

6.幕張新都心への有識者の視点
（有識者ヒアリング）

- ゾーニングされたエリア同士の接続・混合、アップデートが求められる。
- 協働・連携によるエリアマネジメント・運営が必要である。
- 市民による合意形成、まちづくりへの関与が進む工夫が必要。
- 地元住民だけでも規模・動力から限界がある。企業はコンテンツを生み出す主体であり、まちづくりを担う主体になりえる。
- あるゾーンのなかに他ゾーンの飛び地を作るなど、行政が様々な仕掛けを構築出来れば良いのではないか。
- 自然・環境などサスティナビリティを体現する街を標榜してはどうか。

7. 目指すべき姿

「まちづくりの理念」
幕張新都心のこれまでの歩みを踏まえこれからも大切にすべき考え

- ◆ ﾌﾛﾝﾃｨｱｽﾋﾟﾘｯﾄを継承し世界・アジアと競合し得る日本のトップランナーであり続ける都市
- ◆ 常に未来を追い求め、チャレンジを繰り返しながら成長する都市

「幕張新都心のありたい姿」
まちづくりの理念の下に幕張新都心にて活動する上で必要とするもの

【新規性、先端性】
◆幕張新都心から新しいコト・モノを生み出す

【包摂性】
◆多様な人・活動を受け入れ応援する

【都市経営】
◆様々な主体・市民が協働しながら幕張新都心を持続的に高度化するための仕組み・基盤が整っている

「幕張新都心のまちづくりの変革の方向性」
ありたい姿と現状のギャップを超えるために進むべき方向

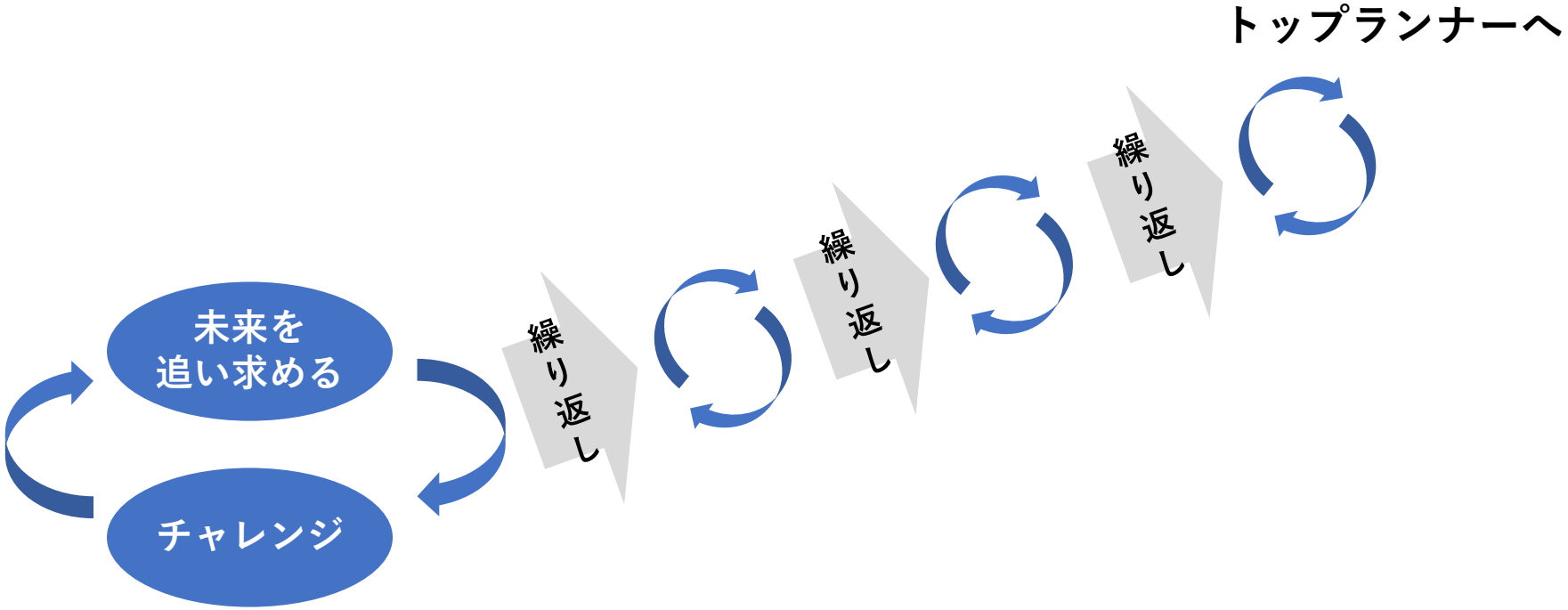
◆誘致から誘致プラス育成への変革
◆個々の尖りから融合・連携による尖りへの変革

◆多様な人・活動の許容から推進応援する土壌づくりへの変革
◆新たなライフスタイル等新常態受け入れへの変革

◆役割分担から相互乗り入れへの変革
◆新たな価値を生み出す都市経営への変革

7. 目指すべき姿 (1)まちづくりの理念

フロンティアスピリットを継承し世界・アジアと競合し得る日本のトップランナーであり続ける都市
常に未来を追い求め、チャレンジを繰り返しながら成長する都市



7. 目指すべき姿 (2)幕張新都心のありたい姿

より多様な人・活動が受け入れられ
新しいコト・モノが生み出される
土壌が築かれる

新しいコト・モノが生み出される
魅力ある環境に、
より多様な人・活動が集まる

幕張新都心から新しいコト・モノを生み出す(新規性・先端性)

- 新たなコト・モノを生み出すべく、企業誘致に留まらず、立地企業同士の交流を通じ、新たな主体を幕張新都心から創出する。
- これまでに整備されてきた幕張メッセなどの都市基盤・インフラなどを柔軟に組み合わせ、産業だけでなく文化・アートなど、多様な分野でより新たなコト・モノを生み出す。

多様な人・活動を受け入れ応援する(包摂性)

- ライフスタイルが多様化し、若年層・ファミリー・シニア・外国人など活動する人も多様化するなかで、一人ひとりが幸福で楽しく過ごせる幕張新都心を目指す。
- 大学・企業など幕張新都心が既に持ち合わせる様々な地域資源を活かしながら、ポストコロナの新常態で、市民、学生、ワーカーがいきいきと暮らし・活動するための環境や仕掛けを作り上げていく。

好循環をより高める

様々な主体・市民が協働しながら幕張新都心を持続的に高度化するための仕組み・基盤を整える(都市経営)

- 幕張新都心における様々な主体の連携により、エリア同士の接続・連携を深め、幕張新都心を高度化（アップデート）し魅力を更に高める。
- 様々な主体や活動の支援、推進へ繋がる基盤を構築し幕張新都心の新たな価値が生まれる取り組みを推進する。
- 各種制度を柔軟に運用することで、様々な主体・市民による多様な活動・挑戦を推進する。

8. 現状分析(1)

7.幕張新都心のありたい姿

幕張新都心から新しいコト・モノを生み出す(新規性・先端性)

幕張新都心の目指すべき姿と
現状のギャップを確認

8.現状分析

- 業務拠点としての集積が進み、**情報通信業を中心に立地が進んだものの、地域内でのスタートアップ・ベンチャーなど新産業創出の動きが弱い。**(職)
- 幕張新都心には業務機能だけでなく教育機関が立地するが、**産学の連携があまり進んでいない**。(職・学)
- 一方、**本市は国家戦略特別区域として指定**され、幕張新都心では**ドローン・新たなモビリティサービスなど先端的な取組を**積極的に進めている。
- 先端的な施設として**幕張メッセ**があるものの、**首都圏他エリアでもMICE施設が各地で開設され、幕張新都心を取り巻く環境は大きく変化している。**また、**新型コロナウイルス感染症**により**コンベンション事業の環境も大きく変化している。**(職・遊)

8. 現状分析(2)

7.幕張新都心のありたい姿

多様な人・活動を受け入れ、応援する(包摂性)

幕張新都心の目指すべき姿と
現状のギャップを確認

※METACITYとは、幕張新都心を中心に、アイデアの実証を通して、「ありうる都市」を探求するプロジェクト。都市デザインに関わる専門家だけでなく、多分野にまたがる研究者、アーティスト、デザイナー、技術者、地域コミュニティや企業などが一緒に活動している。

8.現状分析

- テレワーク化の進展などによりライフスタイルが多様化するなか、都心と比べて**職住近接で住環境に優れており、地域で働きやすく暮らしやすい環境**を持っている。(職・住)
- 都市のなかの緑・公園・海など、**一人ひとりにとって憩いの場となる環境の整備**は進んできた。(遊)
- METACITY（※）など**文化面での先端的な取組**が見られつつあるが、市民の様々な**文化的・創造的活動を受止める場や環境**が十分には整備されていない。(職・遊)
- 大学など教育機関の立地はあるものの、生涯学習や地域交流など、より**地域で様々に学び楽しむことの出来る取組が多く見られるわけではない。**(住・学)
- 幕張新都心では計画人口が定まっているなかで、徐々に高齢化が進展、また外国人が増加するなど、**生活者の構成も大きく変わりつつある**。(住)

8. 現状分析(3)

7.幕張新都心のありたい姿

様々な主体・市民が協働しながら幕張新都心を持続的に高度化するための仕組み・基盤が整っている(都市経営)

幕張新都心の目指すべき姿と
現状のギャップを確認

8.現状分析

- **エリアがゾーニングされており、住民からみて立地企業の実際の活動が見えないなど、エリア同士の一体感には乏しい。**
- シェアサイクルなど新型モビリティの取組は見られるも、**エリア規模も大きいため移動・交流の手間も大きい**。
- 企業の協議会、地域住民組織など、幕張新都心に多様な組織体はあるものの、**組織間の連携、また職・学との一体的な議論の場・取組が乏しい**。また中には、ヒト・資金の面で**活動の持続性に課題**を抱える組織もみられる。
- 幕張新都心の社会基盤が1980年代に整備されており、**まもなく一斉に更新タイミング**を迎える。

9. 幕張新都心のまちづくりの変革の方向性(案)

ありたい姿と現状のギャップを超えるために進むべき（変えるべき）方向

幕張新都心から新しいコト・モノを生み出すために （新規性・先端性）

○誘致から誘致プラス育成への変革

（取組イメージ）

- 立地や入居までの支援に加え、立地企業同士の交流、産業創出につながる取り組みの強化
- 立地企業同士の交流、産学連携プロジェクト等を通じた、幕張新都心における新たな事業、産業の促進による新たなコト・モノの創出

○個々の尖りから融合・連携による尖りへの変革

（取組イメージ）

- 立地・入居している尖りある企業同士の融合・連携による新たなプロジェクトや、「職」と「学」との連携による新たな産学連携プロジェクトの創出
- 幕張メッセ、自然環境など地域のあらゆる資源、インフラを柔軟に組み合わせ、他の地域ではできないような融合、多様な主体の連携による新しいコト・モノの創出

9. 幕張新都心のまちづくりの変革の方向性(案)

ありたい姿と現状のギャップを超えるために進むべき（変えるべき）方向

多様な人・活動を受け入れ、応援するために （包摂性）

○多様な人・活動の許容から推進・応援する土壌づくりへの変革

（取組イメージ）

- 価値観の異なる多様な人・団体の活動を受け入れるという考え方に加え、多様な人・団体の活動・提案を応援し推進する
- 多様な人・団体の活動を推進し、「幕張新都心ならばできる」と思える環境づくりを促進
- 幕張新都心で活動する一人ひとりの個性を活かし合うことで、幕張新都心ならではの満足度・幸福度が向上し、より多様な人・活動を促進

○新たなライフスタイル等新常態受け入れへの変革

（取組イメージ）

- コロナを契機とした新たなライフスタイルによる住民・企業の新常態を受け入れつつ、単なる新型コロナウイルス感染症対応のための取り組みではなく、新たな常識づくりに向けて推進

9. 幕張新都心のまちづくりの変革の方向性(案)

ありたい姿と現状のギャップを超えるために進むべき（変えるべき）方向

様々な主体・市民が協働しながら幕張新都心を持続的に高度化するための仕組み・基盤を整えるために(都市経営)

○役割分担から相互乗り入れへの変革

（取組イメージ）

- ゾーンでの機能の混合や、各ゾーンに他ゾーンの飛び地を設けるなど、ゾーニングを超えた取組を可能とするような制度・空間の柔軟な運用を促進
- 様々な主体が役割分担を超え、相互に幕張新都心について議論し、連携することによって幕張新都心での活動の変化を促進

○新たな価値を生み出す都市経営への変革

（取組イメージ）

- 様々な主体の発意による新たなプロジェクト・事業の支援や推進へ繋がる基盤や合意形成の仕組みの構築
- 新たな価値を生み出すための活動に繋がる制度・空間の柔軟な運用